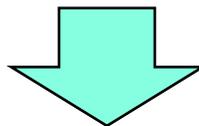


尾原ダムモニタリング計画

第2回モニタリング委員会時（平成21年3月13日）

調査の目的		調査項目		モニタリング計画
水環境	定期調査	鉄、ヒ素、マンガン		1層調査
自然環境	不確実性のある項目 の変化の把握	典型性(陸域)調査	昆虫類	調査時期:初夏季
		典型性(河川域)調査	昆虫類	調査時期:初夏季
			底生動物	調査時期:冬季~早春季、初夏季



第3回モニタリング委員会時（平成21年7月30日）

調査の目的		調査項目		モニタリング計画
水環境	定期調査	鉄、ヒ素、マンガン		3層調査
自然環境	不確実性のある項目 の変化の把握	典型性(陸域)調査	昆虫類	調査時期:夏季
		典型性(河川域)調査	昆虫類	調査時期:夏季
			底生動物	調査時期:冬季~早春季、夏季

【1】モニタリング調査計画の見直しについて

P.9)

【1】-1 定期調査

調査項目

分類	番号	地点名	調査項目							
			流量	一般項目	生活項目	富栄養項目	植物プランクトン	健康項目	その他	底質
流入河川	100	佐々木	○	○	○	○	—	—	—	—
	101	下布施	—	○	○	○	—	—	—	—
貯水池内	200	ダムサイト	—	○	○	○	○	△2	△2	△1
	202	貯水池中央部	—	○	○	○	—	—	—	—
下流河川	300	ダム直下（尾原）	○	○	○	○	—	—	△2	—
	301	温泉	—	○	○	—	—	—	—	—
	302	里熊	—	○	○	—	—	—	—	—
	303	大津	○	○	○	—	—	—	—	—

調査項目 一般項目 : 水温, 濁度
 生活項目 : pH, BOD, COD, DO, SS, 大腸菌群数, 全窒素, 全燐, 全亜鉛
 富栄養項目 : NH₄-N, NO₃-N, NO₂-N, PO₄-P, クロロフィルa
 植物プランクトン: 植物プランクトン(個体数), フェオフィチン
 健康項目 : カドミウム, シアン, ヒ素など
 その他項目: 水道法の基準項目に含まれる項目(鉄, マンガンなど)

調査頻度 ○: 月1回, △: 月1回未満(添字: 年回数)
 月1回未満は、健康、その他: 夏季・冬季, 底質: 夏季を基本として必要に応じて増減

調査深度 貯水池内: 一般項目, 生活項目, 富栄養項目(クロロフィルa除)、
 その他項目の鉄、マンガン、健康項目のヒ素は3層(水深0.5m、1/2水深、底上1.0m)
 クロロフィルa, 植物プランクトン、健康項目, その他は1層(水深0.5m)

流入河川, 下流河川: 2割水深

【2】モニタリング調査計画

調査項目	調査内容	平成20年度	平成21年度												平成22年度												平成23年度												平成24年度												平成25年度											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
ダム事業工程	工事工程等																																																												
水質	定期調査																																																												
	試験湛水時調査																																																												
	詳細調査																																																												
	出水時調査																																																												
環境保全措置の実施	オオサンショウウオの移植																																																												
	植物重要種の移植																																																												
	環境保全措置実施後の動物の重要種の生息状況確認	ナラガシワの生育状況調査																																																											
		重要な昆虫類の生息環境調査																																																											
		重要な昆虫類の生息状況調査																																																											
	環境配慮事項の調査	環境保全措置実施後の植物の重要種の生育状況確認																																																											
		生態系(上位性)																																																											
		重要な種	スナヤツメ、スジマドジョウ小型種点小型、カジカ中卵型、アカザ																																																										
			オオメダカチガメムシ、ツマグロキチヨウ																																																										
	コカワケラ																																																												
生物	ヤシヤゼンマイ、ナガミノツルキケマン																																																												
	典型性(陸域) ・動物相調査 ・植生等調査	哺乳類調査(秋季)																																																											
		鳥類調査(初夏、秋季、冬季)																																																											
		昆虫類調査(夏季)																																																											
		植生調査(夏季)																																																											
	生態系調査	鳥類調査(初夏、秋季、冬季)																																																											
		魚類調査(夏季、秋季)																																																											
		底生動物調査(冬季~早春季、夏季)																																																											
		昆虫類調査(夏季)																																																											
		植生調査(夏季)																																																											
付着藻類調査(夏季、冬季)																																																													
堆砂	河川形態調査																																																												
	粒径加積曲線調査、横断測量																																																												
水源地域動態																																																													
洪水調節及び利水補給の実績調査																																																													